

売り方で売れ方が変わる

平成27年7月1日発行（毎月1回1日発行）
第18巻第2号 通巻210号
平成10年11月4日 第3種郵便物許可

MD

月刊マーチャндаイジング

7

JULY 2015

【スタディ】

効率と顧客満足を両立させる挑戦！

全体最適・作業改善で 生産性を高める

ベisia カメガヤ Paltac



【特別提言】

創造型棚割へのロードマップ

【特別企画】

これだけは覚えておこう！

インバウンド消費 数字と用語15

カテゴリー強化シリーズ

ハウスキーピング①「洗濯ニーズ」攻略法

今月の視点

商品の「置き場」から脱却し、「売り場」「買い場」へ転換しよう



14 ハラル・ハラーム

アジアに2億8,000万人 人口増加地域はムスリム諸国

ハラルとはイスラム教徒(ムスリム)向けにイスラム教の教えで許されている健全な商品、サービス、活動の総称。食品だけではなく衣料品、介護用品、金融などにも及ぶ。反対にムスリムにとって有害とされ禁じられているものが「ハラーム」である。ただしその基準は国・宗旨によって多様で、ひとくくりに対応できない。

たとえば、豚肉や豚肉由来の食品はNG。血抜きをするなどの処理がされていない牛、鶏もNG。アルコールも飲み物はもちろん、お菓子、化粧品に含まれている場合も基本NGである。

世界の人口増加地域の多くはムスリム諸国といわれており、日本でもハラル対応食品売場がお目見えしている。大手のショッピングモールでは礼拝堂まで備えているところもある。そのうちドラッグストアでもハラル認証の化粧品コーナーができるかもしれない。



埼玉県にある創業100年を超える石田香粧はハラル認証に向けた化粧品を開発。ムスリムは1日5回の礼拝前沐浴が日課で、女性は化粧落としが欠かせない。品質のよいメイドインジャパンの化粧品はムスリム向けにも有望だ。



2016年ハラル認証取得を目指すムスリム用コスメ「Melati」。



石田香粧の人気ライン「六花草」シリーズと「ロータス化粧品シン」シリーズは中国人からの人気も高く、免税コーナーで爆買いされている。

15 ゴールデンルート

「関西⇄中部⇄東京」 周辺エリアも徐々に拡大中

関西国際空港から入国し、愛知、静岡を経由して成田から帰国するルートのこと(逆も同)。大阪、東京はいうまでもなくセントレア(中部国際空港)から入国する観光客も増えており(約70万人)、伊勢、鳥羽、高山、富士山へと向かう。ただし周辺は東京、大阪ほど宿泊施設が多くないため浜松など静岡での滞在も増えているという。浜松界隈にドミナントを築くドラッグストアチェーンも最近ではインバウンド増加を肌で感じているという。

また、LCC(ローコストキャリア)人気で、週末に気軽に海外へという気運が高まっている。ただしLCC発着は早朝や深夜が多い。その意味でもドン・キホーテの営業時間帯(24h)が支持されている。



6月6日には新宿3丁目にラオックス新宿本店がオープン。男女別の祈祷室を設けるなどムスリム観光客の需要にも応える。祈祷室は1畳ほどの広さでマットが敷かれており、コーランも置いてある。

